



Calbee

カルビーグループ決算説明会

2023年3月期 第1四半期

2022年4月1日～2022年6月30日

※カルビーの代表産地である北海道で撮影しています。

TSE code : 2229
カルビー株式会社
2022.8.2

2023年3月期 第1四半期業績

決算サマリ

対計画： 国内外スナック好調により、売上高・利益ともに計画達成

対前年同期： ■ **売上高** <国内> 社会経済活動の正常化に伴ってスナックが伸長し増収
<海外> 北米・中華圏が牽引し増収

■ **営業利益** <国内> コストの高騰を改定効果でカバーできず減益
<海外> 北米が貢献し増益
原材料価格・動力費の高騰 国内（△23億円）、海外（△10億円）

■ **当期純利益** 為替差益16億円

(億円)

	2023年3月期 第1四半期実績	2022年3月期 第1四半期実績	伸び率	2023年3月期 第1四半期計画	計画比
売上高	653	599	+9.1%	623	104.9%
国内	482	465	+3.8%	466	103.5%
海外	171	134	+27.2%	157	108.9%
営業利益	54	69	△22.7%	51	105.2%
営業利益率	8.2%	11.6%	△3.4pts	8.2%	+0.0pts
国内	47	63	△25.5%	45	104.8%
海外	6	6	+7.0%	6	108.1%
経常利益	70	70	△1.1%	50	139.7%
特別損益	△0	△0	—	△1	—
当期純利益 ※	46	50	△8.1%	31	146.9%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2023年3月期 第1四半期業績 国内事業

- **売上高**
 - <スナック> ばれいしょ不足によりポテトチップスは減収となる中、土産用製品とその他スナックが好調で増収
 - <シリアル> 新製品が貢献、子供向け製品が不振で前年同期並み
 - <その他> 甘しょ事業が堅調に推移し増収

- **営業利益** 増収や価格・規格改定効果、スナックの販促抑制が貢献するも、原材料価格・動力費の高騰を吸収できず減益

(億円)

	2023年3月期第1四半期		
	前年同期比		
国内売上高	482	+18	+3.8%
スナック	440	+11	+2.6%
ポテトチップス	194	△2	△0.8%
じゃがりこ	95	+5	+5.7%
新価値製品・その他スナック	150	+8	+5.4%
シリアル	66	+0	+0.3%
その他（甘しょ・ばれいしょ・役務提供）	29	+1	+3.2%
リベート等控除	△53	+6	—
国内営業利益	47	△16	△25.5%
営業利益率	9.8%	△3.9pts	—

※「スナック」「シリアル」「その他（甘しょ・ばれいしょ・役務提供）」の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

2023年3月期 第1四半期業績 国内事業

スナック

■ ポテトチップス・じゃがりこ :

- ・ ポテトチップスは、ばれいしょ不足に伴う販促抑制期間の長期化で減収
- ・ じゃがりこは、人流の増加により、コンビニエンスストアでのLサイズや期間限定品が好調で増収

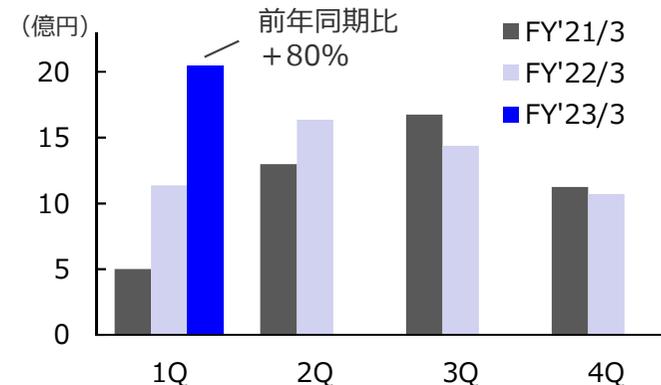


■ 新価値製品・その他スナック :

- ・ 土産用製品は、国内旅行需要が回復基調にあることに加え催事・物産展への積極展開で大幅増収
- ・ コーン系・豆系スナックは、ポテトチップスからの需要シフトおよび新製品の寄与により増収



土産用製品売上高

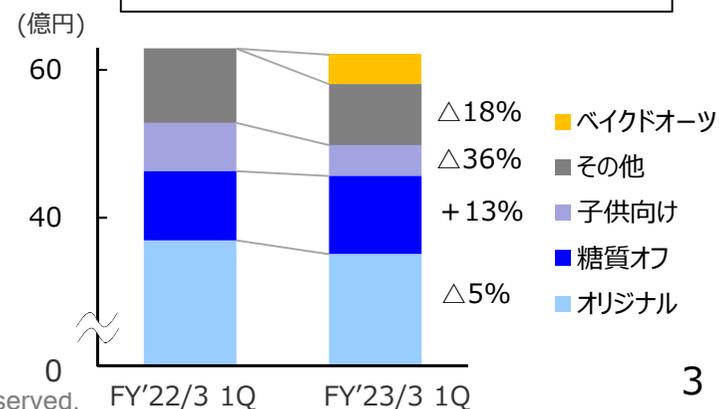


シリアル

- ・ オートミール需要に対応した新製品「バイクドオーツ」を発売
- ・ 「フルグラ 糖質オフ」は好調継続
- ・ 子供向け製品の「フルグラ チョコランチ & バナナ」等は減収



シリアル売上高 (国内消費)



2023年3月期 第1四半期業績 海外事業

(億円)

＜地域別実績＞	2023年3月期第1四半期			
		前年同期比		為替影響除く 実質伸び率
海外売上高	171	+37	+27.2%	+12.4%
北米	56	+16	+40.6%	+19.9%
中華圏	56	+14	+34.2%	+17.0%
その他地域	82	+13	+18.4%	+7.9%
リポート等控除	△23	△7	—	—
海外営業利益	6.4	+0.4	+7.0%	—
営業利益率	3.7%	△0.7pts	—	—
北米	3.8	+3.3	+597.4%	—
中華圏	2.5	△0.1	△2.9%	—
その他地域	0.0	△2.8	△98.3%	—

※ 地域別の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

2023年3月期 第1四半期業績 海外事業

北米

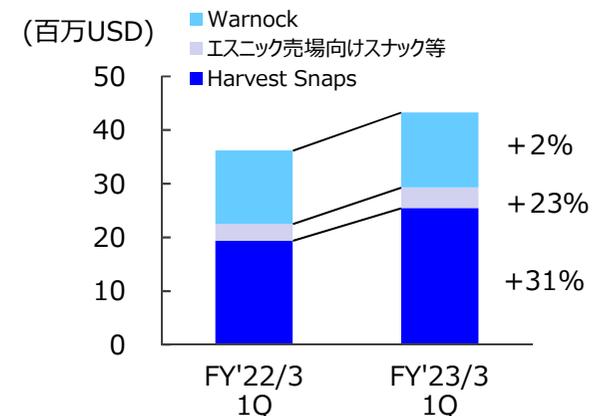
■売上高

- 「Harvest Snaps」は、マーケティング・プロモーション活動が奏功し好調
- エスニック売場向けスナックはコンテナの確保により増収

■営業利益

- 価格・規格改定と増収により増益

北米 売上高 (前年同期比+20%)



中華圏

■売上高

- ロックダウン解除に伴う出荷再開によりEC・小売店舗向けともに増収
- スナックは、「Honey Butter Chip」や「Jagabee」が好調
- シリアルは、「フルグラ糖質オフ」が伸長

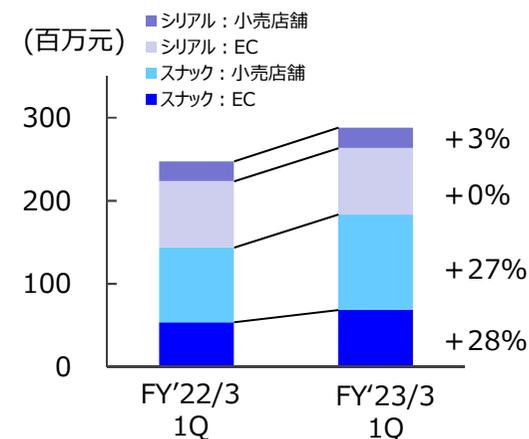
■営業利益

- 代言人を活用したプロモーション費用を積極投入



代言人に人気歌手の Layさんを起用

中華圏 売上高 (前年同期比+17%)

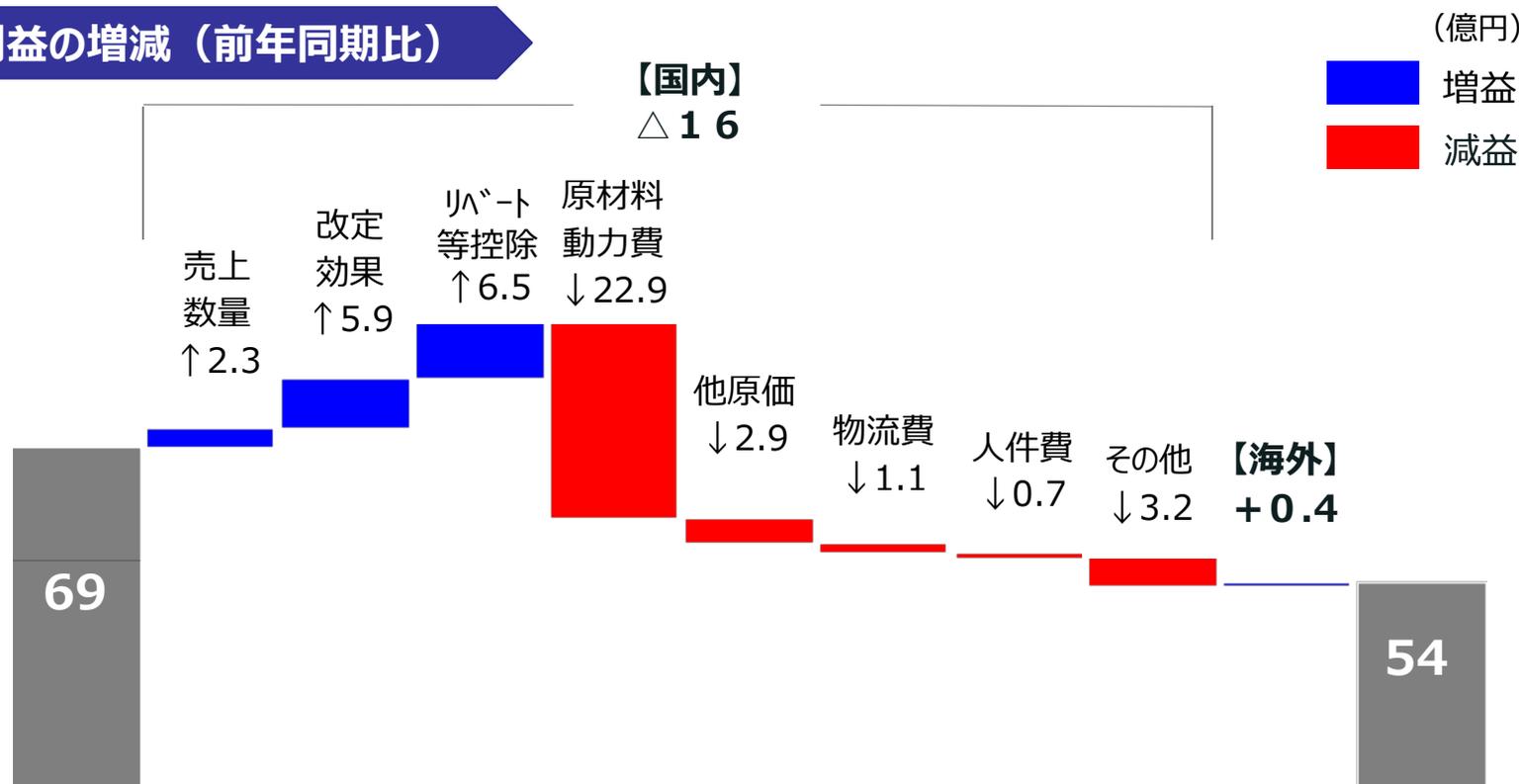


その他地域

- 売上高は、英国とインドネシアが貢献
- 営業利益は、輸送コストや原材料費高騰によりオーストラリア等が悪化し減益

2023年3月期 第1四半期業績 営業利益分析

営業利益の増減（前年同期比）



2022年3月期
第1四半期

2023年3月期
第1四半期

【国内】

リベート等控除 : ばれいしょ不足によりポテトチップスおよびじゃがりこの販促を抑制
 原材料・動力費 : 食油(△4億円)、輸入原料(△8億円)、包材(△3億円)、動力費(△5億円)
 他原価 : 減価償却費(△1億円)

【海外】

価格・規格改定効果(+8億円)
 原材料(△9億円)、動力費(△1億円)

2023年3月期の価格・規格改定

実施時期	2022年6-7月	2022年9月-10月	2022年11月
対象製品	 		
対象製品売上高	230億円	1,200億円	180億円
改定率	内容量：△10% 想定価格：+10-20%	想定価格：+10-20%	想定価格：+10-20%

參考資料

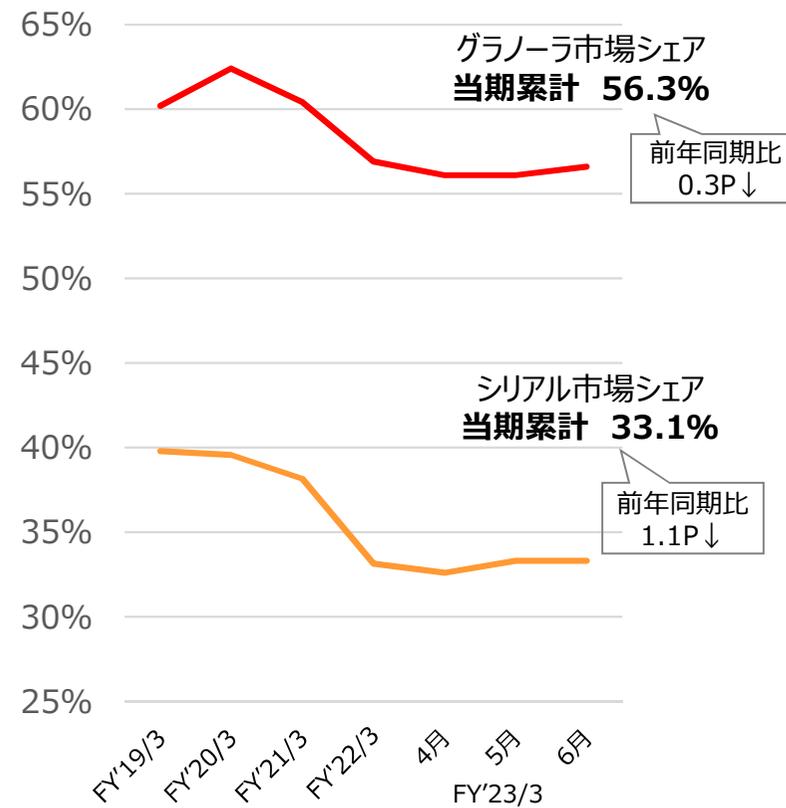
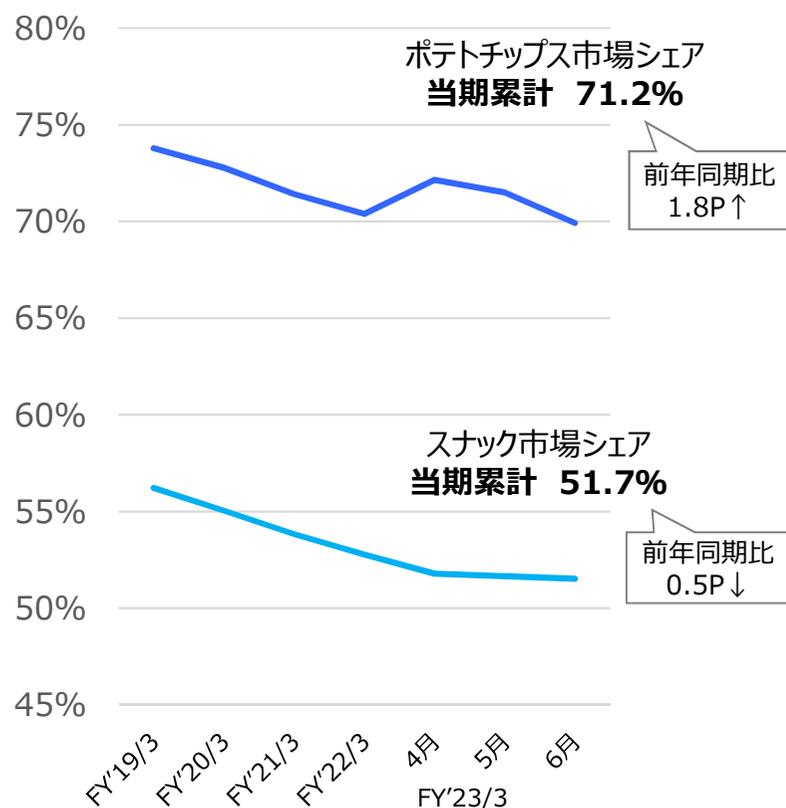
連結損益計算書

(百万円)

	2023年3月期 第1四半期				2023年3月期 通期計画		
		構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	65,323	100.0	+9.1	104.9	268,000	100.0	+9.2
売上総利益	21,126	32.3	△0.4	102.6	89,700	33.5	+6.8
販売管理費	15,763	24.1	+10.5	101.8	64,200	24.0	+9.1
販売費	2,269	3.5	+13.0	97.8	10,600	4.0	+28.0
物流費	5,326	8.2	+12.1	106.1	21,000	7.8	+4.8
人件費	5,000	7.7	+4.9	98.6	20,900	7.8	+6.7
その他経費	3,168	4.8	+15.4	102.9	11,700	4.4	+7.2
営業利益	5,363	8.2	△22.7	105.2	25,500	9.5	+1.4
経常利益	6,955	10.6	△1.1	139.7	25,000	9.3	△7.2
特別損益	△39	—	—	—	△500	—	—
当期純利益 ※	4,553	7.0	△8.1	146.9	15,500	5.8	△14.1

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

国内市場シェア



出所：(株)インテージSRI+ 全国全業態 金額ベース
 当期累計：2022年4月～2022年6月
 前年同期：2021年4月～2021年6月
 FY'19/3-FY'22/3：2018年4月～2022年3月

スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算、非公開PB含む
 グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラカテゴリ

タイの製菓会社を買収～グローバルブランド「Jagabee」への布石

需要が拡大する中華圏への「Jagabee」の輸出強化を目的として、
タイの生産拠点を取得、2024年3月期に輸出開始を目指す

Calbee Tanawat Co.,Ltd.とともに、東南アジア・オセアニアにおける
重要な生産拠点・開発拠点としてグローバル展開を加速



Greenday Global Co.,Ltd.の持ち分取得

- 買収金額：12百万USD
- 取得割合：75%
- 株式取得：2022年7月



< Greenday Global Co.,Ltd.概要 >

- 設立：2010年
- 事業内容：野菜や果物などを原料とした
 スナック菓子の製造販売
- 直近の業績（2020年12月期）：

売上高	300百万タイバーツ
純資産	184百万タイバーツ



本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR部

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2023/3(FY'23/3)は2023年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。